

担当教師と研究協議をするとともに、必要に応じて指導助言を行い、学習指導の充実強化を図ることを目的とする？

#### (2) 対象教科等

国語、社会、数学、理科、音楽、美術、英語、家庭、農業、工業、商業の11教科及び特殊教育とする。

#### (3) 訪問日程

##### ① 日程打合わせ（30分）

当該教科主任、研究協議の司会、記録者等による。この際、教務関係、努力目標、教育課程、学習指導計画の関係表簿に閲覧する。

##### ② 授業参観（50分）

当該教科担当全員の参加を原則とし、うち1名（農業、工業などは小学校各1名）が授業を行う。

##### ③ 授業研究（50分）

当該教科全員が参加し、研究授業を中心に授業研究を行う。

##### ④ 研究協議（100分）

校長、教頭、教務部長及び当該教科担任全員が参加し、学習指導要領並びに学習指導法、各校提出の研究協議議題等の研究協議を行う。

#### (4) 提出資料

当日の日程表、教務関係努力目標、研究協議類、授業案

#### (5) 訪問校

白河、勿来工業、若松女子、白河矢吹分校、田村、原町、猪苗代、小野、東白川農商、会津工業、小高

② 人 数 '20名

③ 発令年月日 昭和49年4月1日

④ 氏名公表の有無 公表しない。

⑤ 開催期日 昭和49年4月30日及び5月30日

⑥ 会 場 県庁西庁舎教育委員室

#### (2) 教科書展示会

7月1日から7月10日まで10日間、県内16教科書センターにおいて開催した。

会場名

- 福島市立福島第二小学校
- 保原町立保原公民館
- 二本松市立二本松南小学校
- 郡山市立橋小学校
- 須賀川市立第一中学校
- 白河市立白河第二小学校
- 棚倉町立棚倉小学校
- 石川町立石川中学校
- 三春町立三春小学校
- 会津若松市立第二中学校
- 喜多方市立第二中学校
- 会津坂下町立坂下小学校
- 田島町立田島小学校
- 富岡町立富岡第一中学校
- 原町市立原町図書館
- いわき市立平第三小学校

#### (3) 小学校用・使用教科書採択一覧表

（昭和49年度から3か年継続採択）

種 目 採択地区名	国 語	書 写	社 会	地 国	算 数	理 科	音 乐	園 園 工 作	家 庭
信夫・伊達・安達	光 村	光 村	東 書	帝 国	東 書	東 書	音 教	開隆堂	模式家
郡 山・田 村	光 村	東 書	東 書	帝 国	東 書	東 書	友 社	開隆堂	模式家
岩 渕	光 村	日 書	東 書	帝 国	東 書	東 書	友 社	開隆堂	模式家
西 白 河	光 村	光 村	東 書	帝 国	東 書	大 日 本	友 社	開隆堂	模式家
東 白 川・石 川	光 村	光 村	東 書	帝 国	東 書	東 書	友 社	日 文	模式家
会 津	東 書	東 書	東 書	帝 国	東 書	東 書	友 社	開隆堂	模式家
相 馬	東 書	東 書	東 書	帝 国	東 書	東 書	友 社	開隆堂	模式家
双 楽	光 村	光 村	東 書	帝 国	東 書	東 書	友 社	開隆堂	模式家
い わ き	光 村	東 書	東 書	帝 国	東 書	東 書	教 芸	開隆堂	模式家

（国立・私立・養護学校・特殊学級用を含まない。）

## 第13節 教科書採択と管理運営

### 1 昭和50年度使用教科書の採択

小・中学校用教科書の採択は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」に基づいて行われた。

本年度は、小学校は継続採択、中学校は採択替えとなった。

#### (1) 教科用図書選定審議会

##### ① 教科用図書選定審議会委員

構 成 分 野	職 名	氏 名
学識経験者 代 表 3名	福島大学教授	島 貫 快 祐
	同	新 田 勝 彦
	同	工 藤 正 悟
教職員代表 8名	福島市立湯野小学校長	佐 藤 好 秋
	福島市立福島第一中学校長	遠 藤 伊 雄
	郡山市立郡山第三中学校長	佐久間 俊 隆
	郡山市立行健中学校長	樽 井 四 郎
	柳津町立柳津中学校長	笠 間 主 稲
	いわき市立平第二中学校長	鈴 木 四 郎
	福島県立福島盲聾学校長	羽根田 宣 清
	桜の聖母学院中学校長	大 溝 節 子
教育関行政 代 表 9名	福島県教育次長	内 田 茂 一
	福島県教育センター所長	高 橋 幸 信
	福島市教育委員会委員長	阿 部 一 信
	二本松市教育委員会教育長	長 谷 川 秀 雄
	郡山市教育委員会教育長	堀 内 鉄 雄
	会津若松市教育委員会教育長	大須賀 正 道
	いわき市教育委員会教育長	大和田 美 道
	福島県教育庁県北教育事務所長	渡 辺 五 郎
	同 指導課長	福 井 淳 夫